

長崎県民100人に聞きました（インターネット&ヒアリング）

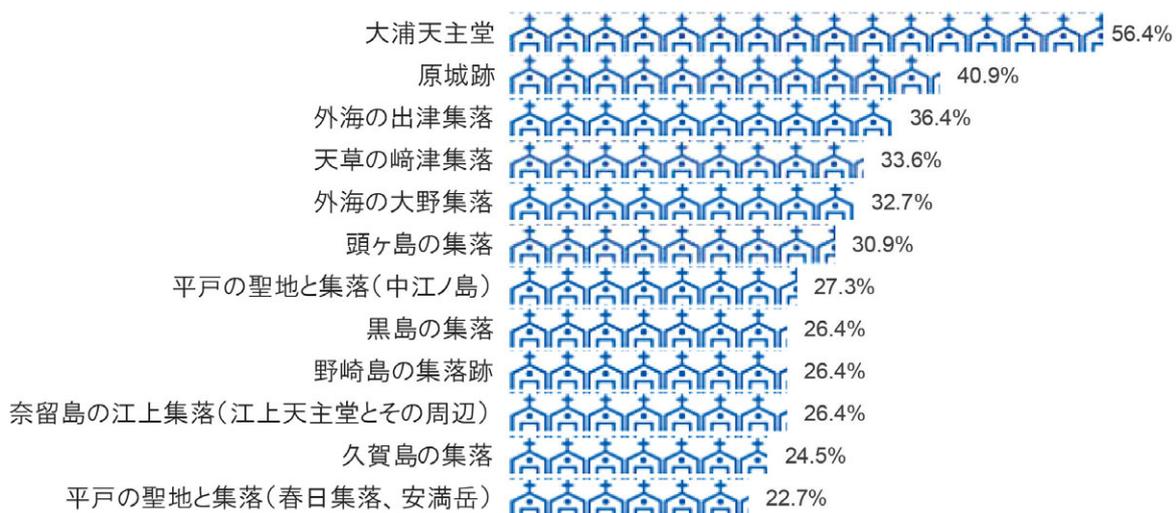
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」 世界遺産登録について

去る6月30日、バーレーンで開催された第42回世界遺産委員会において、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されることが決定しました。このことについて、関心の度合いや訪問意向、期待や課題などについてアンケート調査を実施したところ、県内在住の男女110名より回答を得ました。

構成資産についての認知度と関心度

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、熊本・長崎両県の6市2町にまたがる12の資産によって構成されています。これらの教会や史跡、その周辺の集落などそれぞれについて、今回登録された世界遺産の構成資産であることを知っているか尋ねたところ、世界遺産の構成資産としての認知度が最も高かったのは「大浦天主堂」で、5割超に上りました。次いで「原城跡」（40.9%）、「外海の出津集落」（36.4%）となりました。

世界遺産の構成遺産としての認知度（N=110，複数選択）



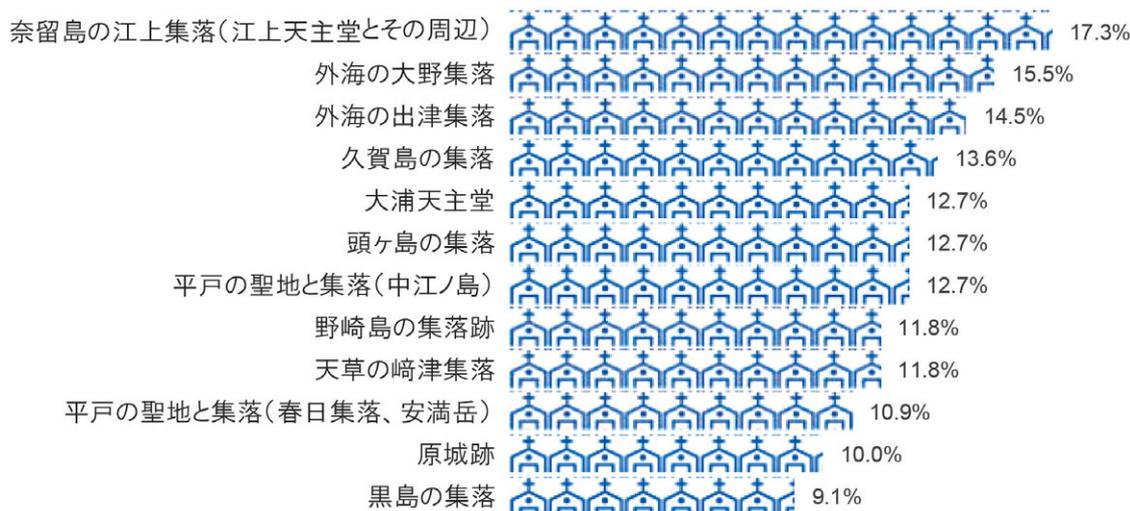
調査方法：(有)みかんコミュニケーションズが運営する長崎県内女性ネットワークMONET登録会員を中心にインターネット及びヒアリングにより県内在住の男女110名より回答を得ました。

調査期間：2018年6月21日（木）～6月27日（水）

回答者属性：【性別】男性38名、女性72名 【年齢】10～20歳代14名、30～40歳代45名、50～70歳代51名
【居住地】県南96名、県北2名、県央8名、離島4名

また、それぞれの構成資産について、関心があるか尋ねたところ、関心が最も高いのは「奈留島の江上集落（江上天主堂とその周辺）」（五島市）で17.3%、次いで「外海の大野集落」（長崎市）が15.5%、「外海の出津集落」（長崎市）が14.5%となりました。

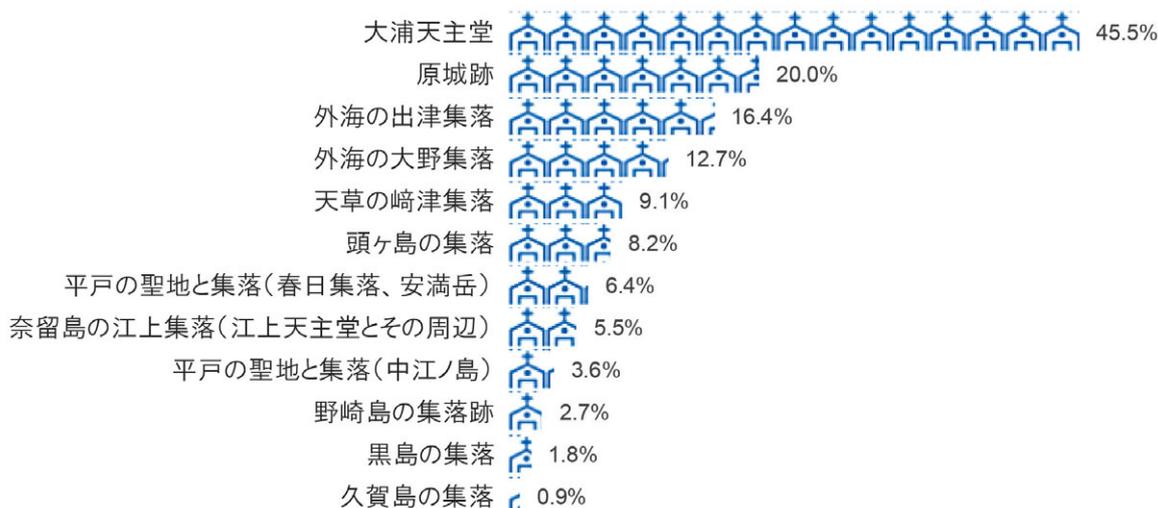
各構成遺産に対する関心度(N=110, 複数選択)



今後の訪問意向が高いのは外海地区や五島地区

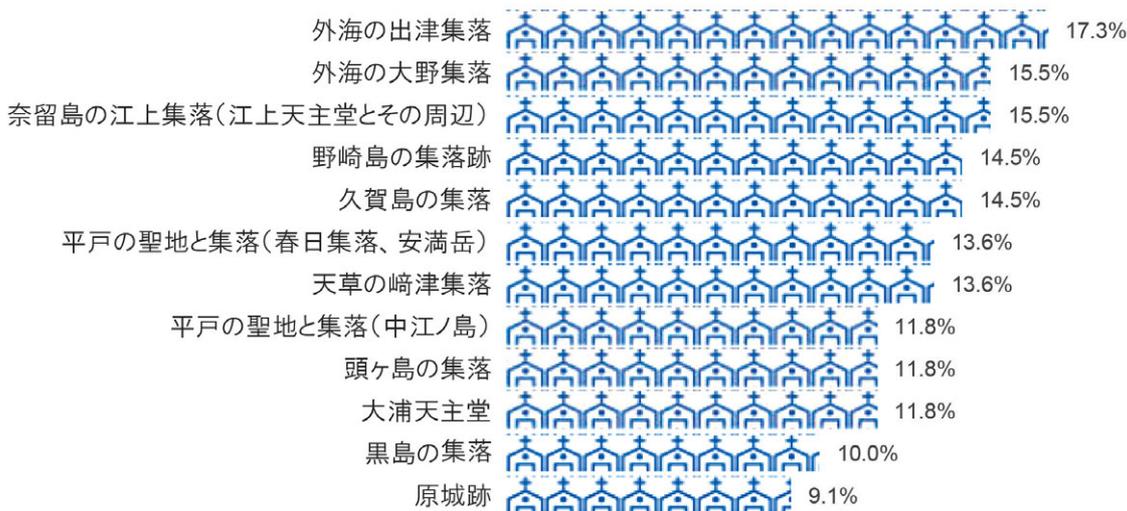
12の構成遺産について、これまでに訪問したことがあると答えた人が最も多かったのは「大浦天主堂」（長崎市）で、その割合は45.5%でした。次いで「原城跡」（南島原市）が20.0%、「外海の出津集落」（長崎市）が16.4%となりました。観光地として賑わいのあるエリアにある「大浦天主堂」と、その他の構成資産には、訪問率に大きな差があることがわかります。

世界遺産登録前の訪問率(N=110, 複数選択)



また、再訪問も含め、今後訪問したい構成資産については、「外海の出津集落」（長崎市）と答えた人の割合が17.3%と最も高く、次いで「外海の大野集落」（長崎市）と「奈留島の江上集落（江上天主堂とその周辺）」（五島市）が15.5%でした。

構成資産への訪問意向(N=110, 複数選択)



外国人旅行者に訪問を勧めたい

友人・知人に訪問を勧めたいと思う構成資産については、「大浦天主堂」（長崎市）と答えた人の割合が最も高く、次いで「外海の大野集落」（長崎市）でした。

また、外国人旅行者に訪問してほしい構成資産については、上記と同様「大浦天主堂」（長崎市）と答えた人の割合が最も高く、次いで「原城跡」（南島原市）でした。

すべての資産において、友人・知人への推薦度より、外国人旅行者への推薦度が高くなっており、特に「原城跡」は、7.3ポイントの開きがあります。

各構成資産の推薦度(N=110, 複数選択)

構成資産	友人・知人に勧めたい	外国人旅行者に勧めたい
大浦天主堂	13.6%	16.4%
外海の大野集落	5.5%	8.2%
平戸の聖地と集落(春日集落、安満岳)	3.6%	8.2%
天草の崎津集落	3.6%	8.2%
外海の出津集落	3.6%	7.3%
黒島の集落	3.6%	5.5%
野崎島の集落跡	3.6%	8.2%
頭ヶ島の集落	3.6%	6.4%
平戸の聖地と集落(中江ノ島)	2.7%	7.3%
久賀島の集落	2.7%	5.5%
奈留島の江上集落	2.7%	5.5%
原城跡	1.8%	9.1%

「世界遺産は地元住民が大切に守っていくべき」6割強

世界遺産に関する地元住民としての意識について、それぞれ6段階評価の選択式で回答してもらったところ、次のような結果を得ました。

世界遺産に関する意識(N=110)

	そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	わからない
世界遺産は、私たち地元住民自身が大切に守っていくべき	36.4%	31.8%	16.4%	6.4%	4.5%	4.5%
世界遺産登録によって、郷土愛や誇りが生まれる	34.5%	31.8%	16.4%	8.2%	2.7%	6.4%
地元住民の生活に支障を来すようであれば世界遺産はいらない	20.9%	45.5%	19.1%	5.5%	5.5%	3.6%
世界遺産登録によって、地域の価値が上がる	27.3%	35.5%	22.7%	5.5%	2.7%	6.4%
世界遺産登録によって、離島や人の少ない地域も活気づく	31.8%	30.9%	21.8%	6.4%	5.5%	3.6%
世界遺産登録を大いに宣伝すべき	30.0%	30.0%	27.3%	7.3%	3.6%	1.8%
世界遺産になると、施設やその周辺が整備されるのでありがたい	27.3%	30.9%	24.5%	7.3%	3.6%	6.4%
世界遺産が県内にもっと増えてほしい	21.8%	10.9%	40.0%	16.4%	4.5%	6.4%

上表において、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合は、「世界遺産は、私たち地元住民自身が大切に守っていくべき」が68.2%と最も高く、次いで「世界遺産登録によって、郷土愛や誇りが生まれる」(66.4%)となりました。

一方、「世界遺産が県内にもっと増えてほしい」については、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合(32.7%)が、他の項目と比べて25.5~35.5ポイント低く、「どちらとも言えない」の割合(40.0%)が、他の項目と比べて12.7~23.6ポイント高くなっており、メリットだけでなく、課題などをも見越した地元住民ならではの複雑な心情がうかがえます。

世界遺産に関する意識DI

$$DI = (\text{「そう思う」} + \text{「ややそう思う」}) - (\text{「あまりそう思わない」} + \text{「まったくそう思わない」})$$



世界遺産のあるまちづくり 期待と課題

「世界遺産登録をきっかけに、私達のまちの歴史を更に深く知る機会にしたいと思う」や、「実際に世界遺産を見て、過去の人々のご苦労や偉大さを肌で感じ、自分の生活へのエッセンスになればいいと思います」などの意見にみられるように、県内の資産の世界遺産登録は、私たちの郷土愛をさらに深めたり、知的好奇心を刺激したりするきっかけとなったといえるでしょう。

また、「いろんな国の方や日本中の方に長崎を楽しんでもらいたい」や「テレビ撮影やロケなどにも利用して活気づいて欲しい」、「観光客が増えたらいいなと思うし、それに伴って町が整備されていったらいいなと思います」など、観光客の増加と地域の活性化への期待も膨らみます。

その一方で、「観光客を受け入れる際、安全面や交通のアクセスなどきちんと体制を整えることが大切」や、「一次的なブームで脚光を浴び、その後すさんでしまうことにならないよう、地元は勿論、県民の意識を高めていくことが必要」、「世界遺産になると周辺の地域やそのものが整備されることによって、本来のかたちが変わってしまうのではないかと危惧している」といった意見にみられるように、観光客受け入れのためのインフラ整備や、一過性で終わらない持続的な観光のまちづくり、資産とその周辺環境の保護・保全など、取り組むべき課題も多様です。

「潜伏キリシタンの歴史を捻じ曲げることなく正しく伝えてほしい」や、「学校で小さい頃から教えて貰ったら興味を持てるかも」といった意見が挙がったように、「世界遺産」の本来の目的を見失わず、資産の価値を長く後世につなげるため、各構成資産の意味を正しく知り、次世代に引き継ぐことが、いまの私たちの務めでしょう。

長崎県の次なる世界遺産は、美しすぎる海の風景？

世界遺産に匹敵すると思う県内の建物や景観について尋ねたところ、九十九島（佐世保市）や壱岐、五島など、美しい海の風景が多く挙がりました。次に多かったのは、稲佐山から望む夜景（長崎市）でした。

長崎県には、文化、自然ともにかげがえのない宝物がたくさんあります。その美しさ、素晴らしさを、ぜひ県内外の多くの人々と共有したいものです。



九十九島は自然遺産として素晴らしいと思う。季節によって色々な変化を見せてくれる海、島、人の営み、全部含めて素敵な風景を感じる。(60歳代女性/佐世保市)

寄せられたご意見「期待と課題」

【期待】

- 離島が多い長崎なので、離島に観光客が増えるといいな。(30歳代女性／長崎市)
- テレビ撮影やロケなどにも利用して活気づいて欲しい。(30歳代女性／諫早市)
- いろんな国の方や日本中の方が訪れるので長崎を楽しんでもらいたい。(40歳代女性／諫早市)
- 修学旅行や歴史探訪する人が増える。その地域周辺で、日帰り(食事)や宿泊を誘致。(40歳代男性／諫早市)
- 観光客が増えたらいいなと思うし、それに伴って町が整備されていったらいいなと思います。(50歳代女性／長崎市)
- 長崎は世界遺産が多く県外から来た私には驚きです。観光が主体の県なのでもっと世界に誇れる遺産が増えるのを期待します。(40歳代女性／大村市)
- 観光客が来ることによって、治安が良くなると思う。長崎の良さを知ってもらえる。(10歳代女性／長崎市)
- 世界遺産登録をきっかけに、私達のまちの歴史を更に深く知る機会にしたいと思う。(50歳代女性／長与町)
- 今後、増加すると見込まれる外国人観光客にも、世界遺産への登録をきっかけとして、地元長崎のまちのことを知ってもらいたい。(40歳代男性／長崎市)
- 長崎の活性化に期待したいです。(50歳代男性／島原市)

【課題】

- この前、知人を案内して出島に行ったが、いくつか故障中などの貼り紙がしたままになっていて、長崎人として恥ずかしかった。資料館や施設など作った場合、メンテナンスをきちんとしてほしい。(50歳代女性／長崎市)
- 地域活性に繋がるとは思いますが、一過性にならないようにと願います。(50歳代女性／長崎市)
- 世界遺産に認定されることにより、その地域が

世界中に知れ渡ることになるので、世界遺産になることは良いことだと思う。しかし、観光客が殺到することにより、ゴミが増えたり、トイレやお店などでのマナーの問題等、解決しなければならない課題も出てくるとは思う。(30歳代女性／長崎市)

- 元々観光地であった場所は盛り上がっているが、本来祈りの場所であるため、信者が不快に思うようであればダメだと思う。(50歳代男性／長崎市)
- 世界遺産に登録されれば多くの人から注目を受けて活気がわくと思う。観光客も増えると思われる。が、それを維持していく多額の費用をまかないきれぬのかと不安に思う。(60歳代女性／佐世保市)
- これまで地域の人々が大事にしてきたものが、よそから来た人によって踏み荒らされることのないように、観光資源として活用する際には一定のガイドラインが必要だと思う。(50歳代女性／長与町)
- 交通網の整備など行きやすくしてほしい。(20歳代女性／長崎市)
- まちの知名度が上がる、雇用の場が増える、商業や製造業が活性化するなど期待できますが、自然や歴史的建造物やそこで暮らす人々が傷つけないことを願います。長崎の風景に合った案内板や道路、駐車場の整備などはすぐにでも必要だと感じます。一時的なブームにならず、訪れた人が長崎を好きになってまた来たいと思ってくれるようなまちになってほしいです。(50歳代女性／長崎市)
- 教会には興味があるので、長崎市内、平戸などを散策しました。どこも信者さん等の手で、綺麗に整備されていて素晴らしかったです。たくさん観光客に見てほしいとは思いますが、道が狭く、場所がわかりにくいところもあるので、地元の方に迷惑がかからないで、観光客にもわかりやすいPRが必要だと思います。(50歳代男性／長与町)

- 観光客が増えて経済的に潤うことはありがたいが、地元の方の生活に支障が出ないように工夫することが大事。実際に世界遺産を見て、過去の人々のご苦勞や偉大さを肌で感じ、自分の生活へのエッセンスになればいいと思います。(40歳代女性／長崎市)
- 観光客を受け入れる際、安全面や交通のアクセスなどきちんと体制を整えることが大切だと思う。(60歳代男性／長崎市)
- 観光客の受け入れ体制をしっかり整えることが今後の課題だと思う。やみくもに世界遺産を増やせばいいとは思わない。(60歳代男性／長崎市)
- 世界遺産が増えることで街に活気が出るのはありがたい。しかし現状ではあまり上手く生かせていない気がする。イベントや企画が増えればよいと思う。(20歳代女性／長崎市)
- 大切に保存し歴史的遺産を継承していくべきである。(50歳代男性／長崎市)
- 世界遺産が増えたところで、関心を持たなければ観光客が増えることもないので全く意味がないと思います。むしろ、そういった観光客向けの政策に力を入れるより、現在若年層の人口が減少していていることについて、地域住民向け、特に若い人の県外流出に向けた福祉などの政策に力を入れるのがまず最優先だと思います。観光客はあくまで一時的に地域の財政を潤してはくれますが、まずその地域の財政を全般的に支える人々の暮らしを豊かにすることを念頭に置いてほしいです。(20歳代女性／長崎市)
- ひっそりと信仰を守っていた地域に観光客が訪れて、町が今までの信仰を守れないのであれば、世界遺産はどうかと思う。ただ観光客誘致のためのものならばいい気がする。(50歳代女性／五島市)
- 最近、ローカルニュースの中で取り上げられることが多くなり、現状を見ると離島は特に住んでいる人が少ないのが気になります。地域の人々の生活を守りつつ、来訪者への案内などするには、人手はどこから支援するのでしょうか。(50歳代女性／長崎市)
- 世界遺産登録によって、具体的にどんなメリッ

トかあるのか、正直よくわかりません。潜伏キリシタンを押し出すのであれば、その歴史も捻じ曲げることなく正しく伝えていってほしいと思います。(50歳代女性／長崎市)

- 島に在住している知り合いは、観光客のマナーの悪さに辟易する事が度々あり、困っていると言っていた。穏やかな島の暮らしがかき乱されるくらいなら、世界遺産などになって欲しくないというのも本音だそうです。(50歳代女性／長崎市)
- 世界遺産に認定されるまでは、関係各位の皆さんや、地元の方々の努力は大変だと想像します。しかしながら、いざ決定となったなら、暫くは盛り上がり観光客も増えますが、ブームが去ったあとは有名な所以外、忘れ去られて行きます。地元の宝物として、県内外へ広く定期的に告知して、大切に育てる事が大事だと考えます。(50歳代男性／長崎市)
- 世界遺産になろうがなるまいが守っていくべきものがある。観光客頼みになるのはおかしい。(50歳代女性／長崎市)
- 世界遺産だけで一回来たなら終わりに終わらないように何度も来たくなるような都市を目指してほしい。(40歳代女性／長崎市)
- 一次的なブームで脚光を浴び、その後 すさんでしまう事に成らないよう、地元は勿論、県民の意識を高めていくことが必要なのではないか。(30歳代女性／長崎市)
- 世界遺産であるかなしで、価値を決めたり、保存するか否かを決めたり、というようなことにならないか心配。世界遺産になると周辺の地域やそのものが整備されるようなこともあるが、それによって、本来のかたちが変わってしまうのではないかと危惧している。出島が整備されたが、以前の出島と比べて作り物のような印象を受け、魅力を感じなくなってしまった。吉野ヶ里遺跡が発見されたとき、凸凹の穴に様々な想像を巡らせ、震えるような感動を味わったが、後に整備されて、凸凹の穴の上に縦穴住居等がつくられ、残念に思いがっかりした。(50歳代女性／長崎市)